

ASEAN航空市場における 当社の現状と今後

全日本空輸株式会社
アジアオセアニア室長
シンガポール支店長

神田 真也

2021年12月10日



- ◆ 感染状況
 - ・ コロナ禍 振り返り（一言で言うと）
 - ・ 感染者推移（推定抗体保持者との関係）

- ◆ 当社ASEAN就航路線の状況（旅客）
 - ・ 便数推移
 - ・ 実績推移
 - ・ 当社の取組み

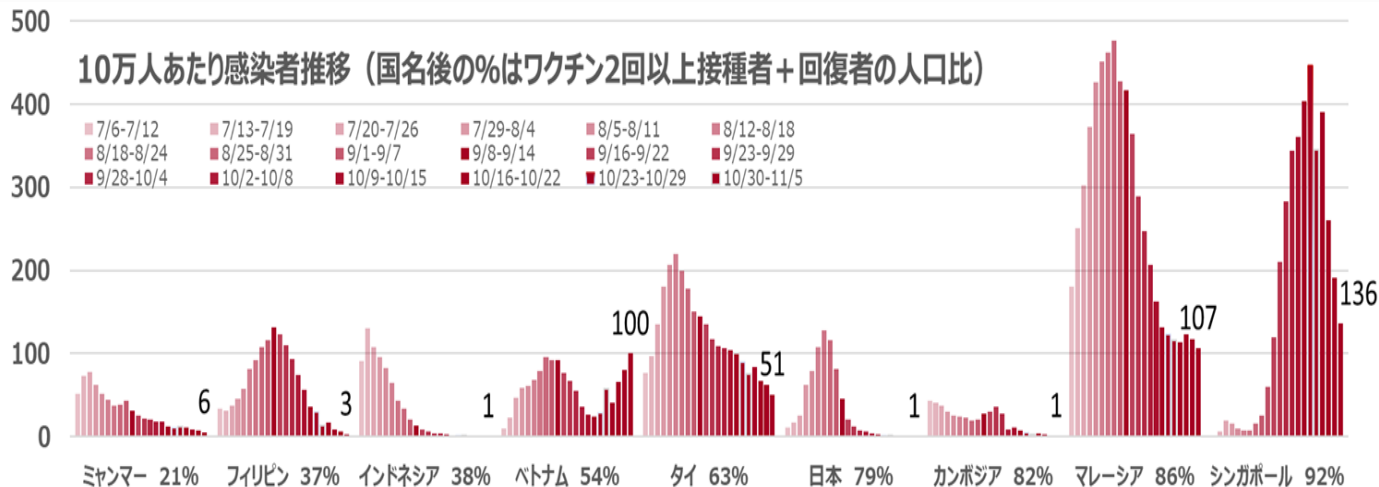
- ◆ 当社ASEAN就航路線の状況（貨物）
 - ・ 航空貨物市場に影響を与えたファクター
 - ・ 実績推移
 - ・ 当社の取組み

- ◆ ASEAN各国の入国制限と検疫、及び航空需要の見通しと生産量

- ◆ 今後に向けて
 - ・ WITHコロナの旅は？
 - ・ 今後行うべきことは？（当社・業界・国）
 - ・ 当社グループのESG経営
 - ・ 旅はどう変化するか？

国名	振り返り	状況(12/3現在)
ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> ■当初「コロナ抑制成功」 ■免疫保持者少なく、ワクチンない状態で第4波を迎え、今年4月末以降は一気に感染拡大。7月は5千、8月は1万人/日超過 ■南部は7月感染拡大への初動が遅れ一気に医療崩壊状態 ■医療体制が不十分⇒ワクチン遅れ⇒医療体制逼迫⇒徹底隔離継続⇒市民生活・経済悪影響⇒ワクチン接種拡大でウィズコロナへ 	総感染者 1,280,780 10万人あたり 1,299 総死亡者 25,858 10万人あたり 26 2回ワクチン/人口 52.8% 千人あたりPCR 704
フィリピン	<ul style="list-style-type: none"> ■2020年3月以降、厳格なロックダウンを長期実施し最近まで継続 ■新規感染者数は同年7月～8月にASEAN内で最多を記録。医療体制は断続的にひっ迫 ■長引く制限で経済は激しく後退、飢えを感じた世帯数は増加 ■ワクチン接種率は全国的には低位だが、首都圏は7割 ■最近の感染者数減少傾向を受け、経済再開へようやく舵を切る 	総感染者 2,833,777 10万人あたり 2,538 総死亡者 48,987 10万人あたり 44 2回ワクチン/人口 34.4% 千人あたりPCR 218
ミャンマー	<ul style="list-style-type: none"> ■クーデターとコロナのダブルパンチ ■2021年2月発生の政変に対する非暴力抵抗活動（職場ボイコット）で病院機能がマヒしていたところ、2021年7～8月に第3波(デルタ株蔓延)で医療崩壊。一時は重傷者がほぼ入院できない状況。 ■ワクチン接種率がASEAN内で最も低い。 ■コロナ感染防止と治安維持を目的とした行動抑制策が並立。 	総感染者 523,748 10万人あたり 954 総死亡者 19,127 10万人あたり 35 2回ワクチン/人口 19.8% 千人あたりPCR 103

国名	振り返り	状況(12/3現在)
シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ■当初外国人労働者寮で一気に感染爆発 ■2020/4-6の厳格なロックダウン後、段階毎に規制緩和。年末からワクチン接種を急ぐと共に、感染状況に応じて規制強化・緩和を繰り返す。接種が進んだことを受けて2021/9からWITHコロナ政策に舵切り⇒感染急増⇒出社抑制や各種人数制限等で感染抑制を図り減少傾向。 ■但しワクチン接種率高く重傷者比率低い。9月からVTLで観光開国 	総感染者 267,916 10万人あたり 4,529 総死亡者 744 10万人あたり 13 2回ワクチン/人口 87.9% 千人あたりPCR 3,567
タイ	<ul style="list-style-type: none"> ■当初「コロナ抑制成功」連日感染者0人を更新、アジアで優等生 ■2021/1-2に第2波、4月に第3波（4月-5月はアルファ株、6月末からはデルタ株）、感染者は最大2.1万人。現在も第3波継続中 ■ワクチン接種7月から加速、現在国民の約6割が2回接種完了 ■7-8月は医療体制逼迫⇒ロックダウン⇒市民生活・経済悪影響⇒経済を考慮しWithコロナ政策で11/1から観光客の受入開始 	総感染者 2,130,641 10万人あたり 3,042 総死亡者 20,878 10万人あたり 30 2回ワクチン/人口 59.6% 千人あたりPCR 213
マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ■厳しい水際対策と長期間の経済社会活動停滞。 ■2020年3月ASEANで初の全土ロックダウン開始。以降、宗教行事や選挙などによる感染者増もあり、規制強化⇔緩和を繰り返す。 ■検査の徹底とワクチン接種の加速により、2021年10月に経済社会活動再開、コロナとの共存を目指し、観光も徐々に再開。 ■ワクチン接種を条件に店内飲食、旅行許可。実質接種義務 	総感染者 2,649,578 10万人あたり 8,040 総死亡者 30,538 10万人あたり 93 2回ワクチン/人口 77.9% 千人あたりPCR 1,158



感染者・回復者数：WORLDMETERS、ワクチン接種Bloomberg(接種率は人口比)より抽出し当社加工

- ・ 感染はベトナムを除き減少傾向。
- ・ 推定抗体保持者（ワクチン接種者+回復者）と感染には相関性が見られない。
- ・ シンガポールやマレーシアでは積極的検査による炙り出しで大幅に感染者増加したが、無症状や軽度が多い。
- ・ 推定抗体保持率が低い中で感染が少ない国々は、実際の感染者は報告よりも多い可能性あり。

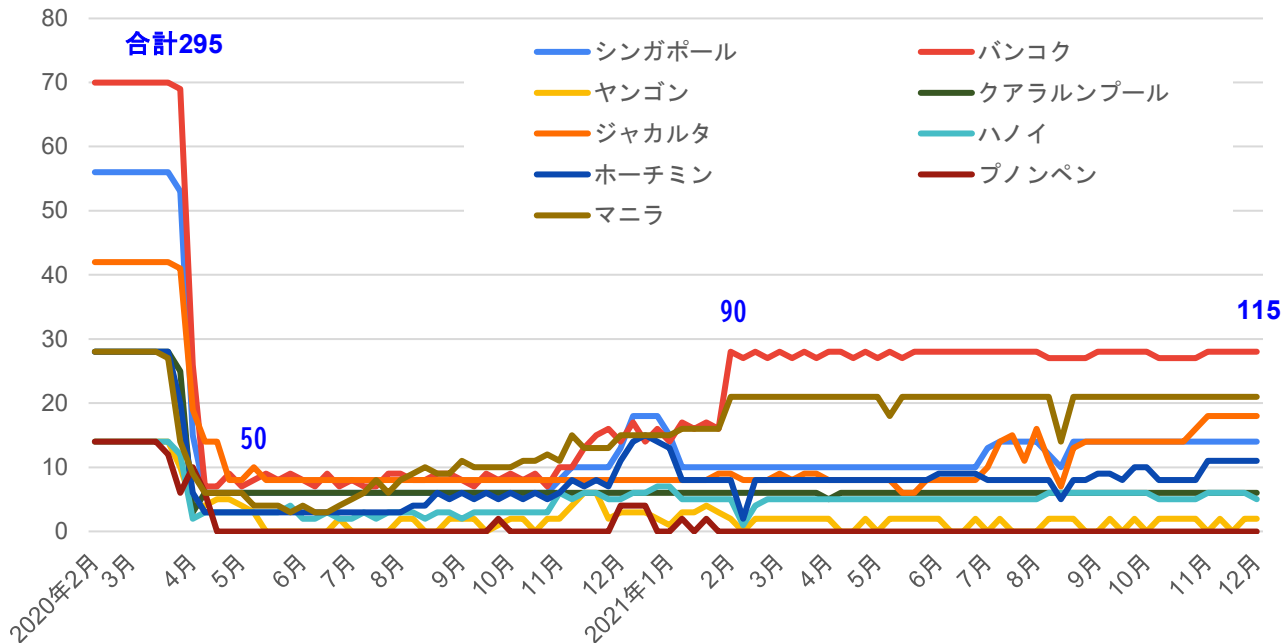
ワクチン接種状況別 重症者、死亡者の割合 (5/1-11/15データ)

Age	Unvaccinated	Partially Vaccinated	Fully Vaccinated
0-12	0.0084	0.0	0.0
13-19	0.0	0.0	0.0
20-29	0.056	0.12	0.0
30-39	0.43	0.080	0.0080
40-49	0.54	0.57	0.034
50-59	1.9	2.2	0.14
60-69	6.8	4.7	0.32
70-79	14	11	1.2
80+	24	16	3.2
Total	2.0	2.8	0.20

出典：MOH SINGAPORE

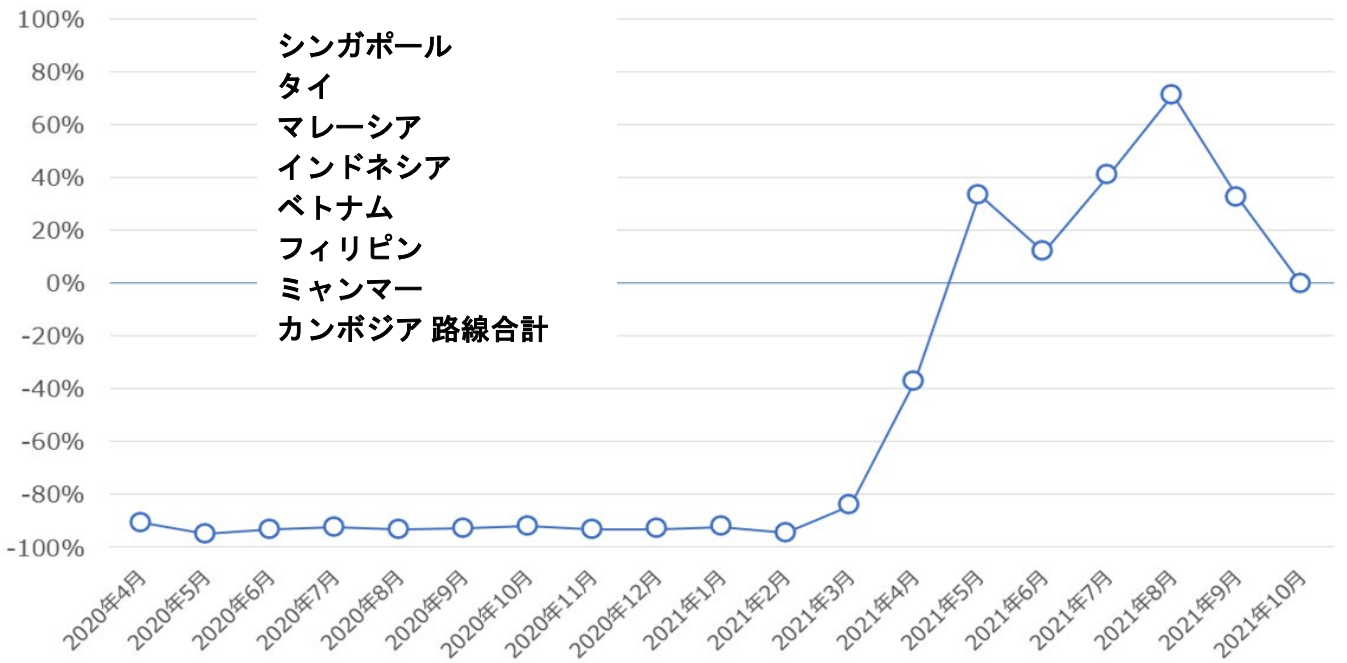
ワクチン完全接種者と未接種者では重症化&死亡率が10倍異なる

週間便数発着計（計画ベース）



- ・ コロナ前ASEANで295便就航→1/6の50便程度に落込み→現在2/5の115便
- ・ 2021年2月以降、バンコクやマニラを中心に徐々に便数を戻してきた。
- ・ ヤンゴンは非定期就航、プノンペンは運休中

前年同月比



- ・ 2020年度は通期で低迷、2021年4月でコロナ影響が一巡した。
- ・ 2021年5月以降は、ASEANから北米行きの需要も再開、各国の入国制限・要件が徐々に緩和され、回復傾向にある。

SKYTRAX社「World Airline Awards」で世界No.1の衛生・清潔な航空会社に認定!



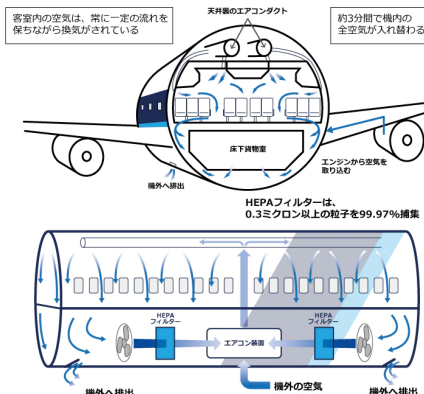
World's Best Airline Cabin Cleanliness



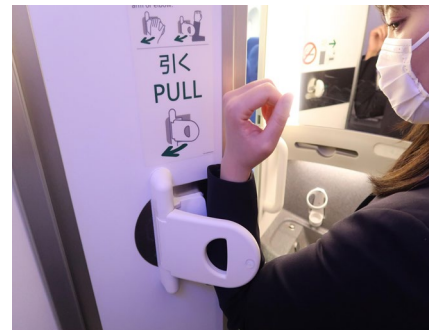
- ☆ 9年連続 5スターエアライン
- ☆ 2018年に続き3度目のWorld's Best Airline Cabin Cleanliness受賞
- ☆ COVID-19 Airline Safety Rating 5スター、COVID-19 Excellence Award受賞



機内の定期的な消毒



HEPAフィルター全機装備



世界初!手を触れず開閉
機内トイレドア

ミャンマー

インドネシア

カンボジア



2021年2月～

ミャンマー政変による流動的な情勢の中、成田 - ヤンゴン線の運航を継続。

21年2月以降、継続的に15往復を運航。約2,800名を輸送

2021年7月

感染が深刻化したインドネシアから在留邦人の一時退避を支援。

ジャカルタ発救援便5便を運航。

2020年9月～

日本との定期直行便が途絶える中、在留邦人の要望に応え、臨時便を運航。

20年9月以降、計8往復を運航



ご帰国あんしんサービス

滞在ホテル



専用ハイヤー



レンタカー



PCR検査



無料手荷物キャンペーン

Premium Economy
& Economy Class **1** piece

Business Class **2** pieces



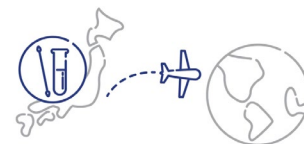
Normal Service 1 extra piece for Free

Normal Service 2 extra pieces for Free

予約変更手数料無料

No Change Fee
Supporting you with flexibility,
fly when you are ready.

PCR検査機関紹介





レストラン
FLYING HONU



ANA's
Sky
Kitchen



20上半期HIT
累計約74万食!



肉の感謝祭
メインディッシュ
12食入り

オンラインツアー:ランチタイム de “ぷらぷらシンガプーラ”



- ✓ シンガポールの今をオンラインツアーで紹介
- ✓ 日本との中継を挟みながら人気観光地や食事等を紹介
- ✓ サイクリングやドローン映像も交え様々な角度から街並みを楽しんで頂く
- ✓ 「ランチカレー付き」ではANAオリジナルカレーを食べながら
- ✓ 外交関係樹立55周年を記念しシンガポール政府観光局提供プレゼント抽選会



マリーナベイエリア (提供先: Singapore Tourism Board)



カトン地区 (提供先: THE TRAVELLER DMC)



ホーカー (提供先: JTA JAPAN CO., LTD.)



リトルイタライア (提供先: Singapore Tourism Board)

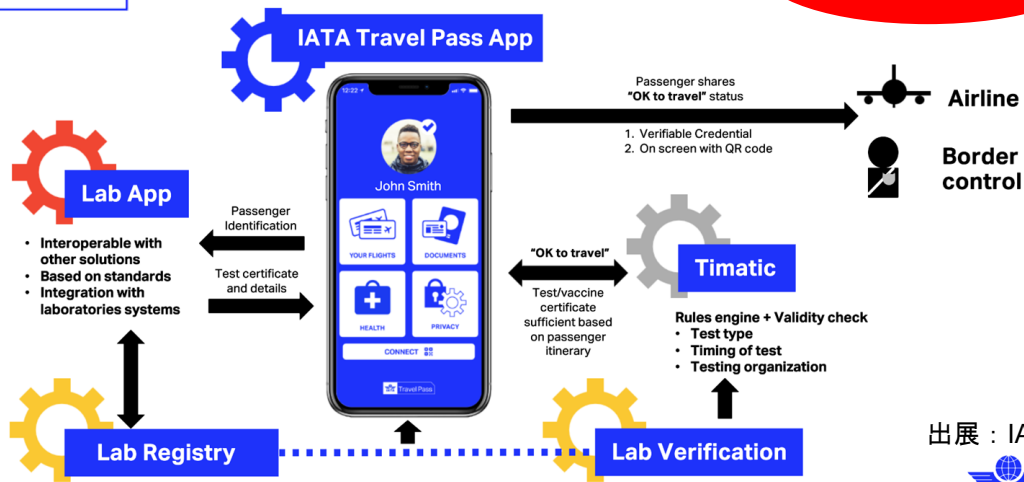


グッズ





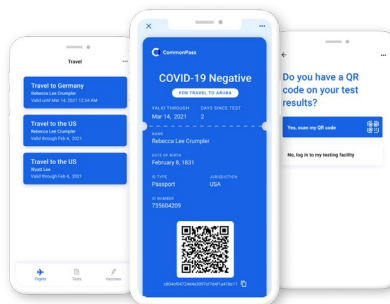
実証実験済



出展：IATA
IATA



実証実験済



出展：Common Pass Project

- ◆ 感染状況
 - ・ コロナ禍 振り返り（一言で言うと）
 - ・ 感染者推移（推定抗体保持者との関係）

- ◆ 当社ASEAN就航路線の状況（旅客）
 - ・ 便数推移
 - ・ 実績推移
 - ・ 当社の取組み

- ◆ 当社ASEAN就航路線の状況（貨物）
 - ・ 航空貨物市場に影響を与えたファクター
 - ・ 実績推移
 - ・ 当社の取組み

- ◆ ASEAN各国の入国制限と検疫、及び航空需要の見通しと生産量

- ◆ 今後に向けて
 - ・ WITHコロナの旅は？
 - ・ 今後行うべきことは？（当社・業界・国）
 - ・ 当社グループのESG経営
 - ・ 旅はどう変化するか？



①SCMの混乱



②港湾混雑・コンテナ不足



③自動車販売好調



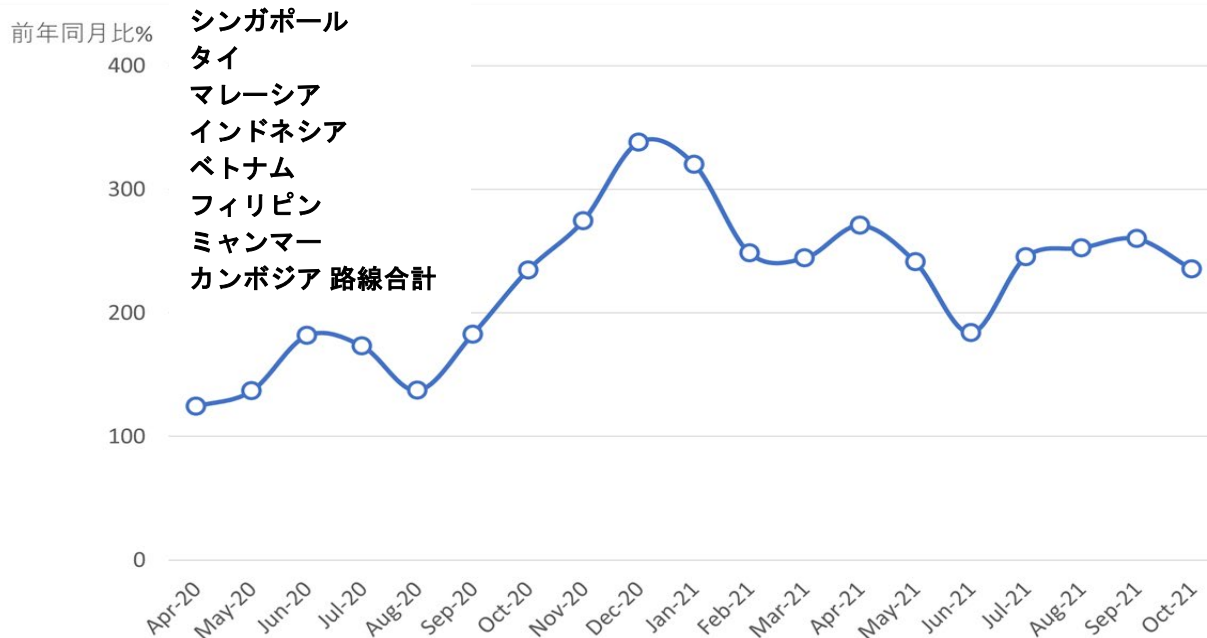
④在宅勤務



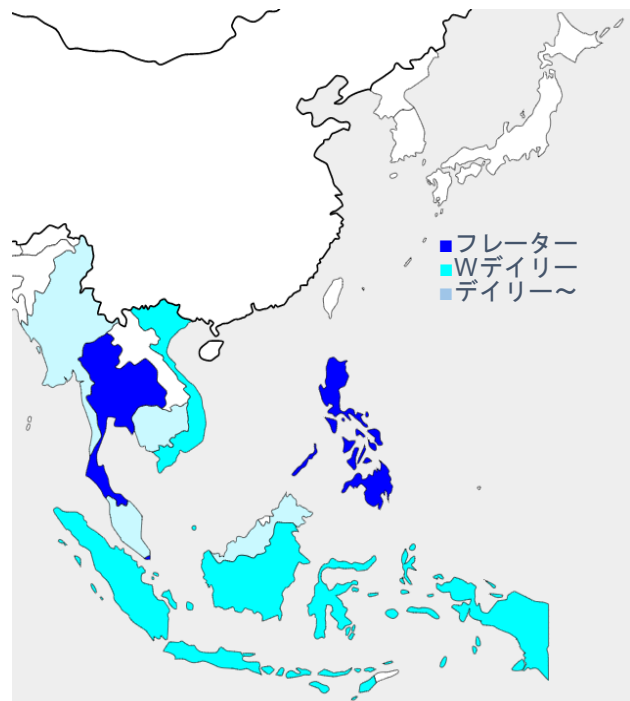
⑤消費行動の変化



⑥中国封鎖管理



- ・ 2020年3月より需給バランスが崩れ始め、供給を上回る需要を確認後、2020年9月より貨物を中心とした体制に徐々にシフト。
- ・ 好調な外部環境に加えて、グループ内での支援を得て2021年秋より更に実績は伸長中。



<貨物機：フレーター拠点>

バンコク(14)、シンガポール(7)、マニラ(3)

- ・往復需要が大きく、旅客機機材と合わせて運航
- ・完成車など大型貨物輸送にも対応

<Wデイリー拠点>

ホーチミン、ハノイ、ジャカルタ

- ・"China+1"や"Regionalization"での成長市場
- ・乗員の入国規制などオペレーション負荷あり

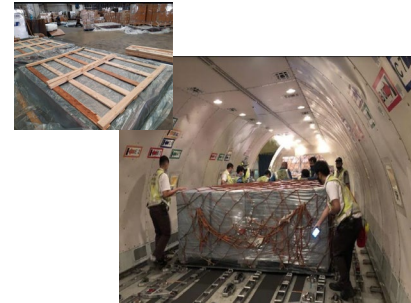
<デイリー拠点> (週7便～0便)

クアラルンプール、ヤンゴン、プノンペン


- ・緊急需要時は、機動的に直行便追加設定
- ・他キャリアやトラック輸送で輸送力補完


❖ 貨物+旅客機材双方を用いて、点から面へと有机的かつ機動的に、ネットワークを構成。


グローバルサプライチェーンを支えるミッション




①貨物機の積極展開

20年8月～ 
マニラ (B6F)
* ASEAN3地点目

20年12月～ 
バンコク (B7F)
* ASEAN初

シンガポール 
B6F増便 (ほぼデイリー)

②NO PAX (貨物便) 展開

21年10月～ 
ハノイ：需要拡大に伴い、
コロナ前の運航規模の倍
となるWデイリーに

* 当初NO PAX機で就航し、
徐々にON PAX化へトラン
ジションする路線あり

③BCPオペレーション

(例)

- ・スタッフィング工夫
マルチアサイン化、
分離シフト
- ・IT・デバイス活用
VDI (仮想デスクトップ)
モバイル端末
- ・リモート支援
日本/域内から教育
訓練、運航管理

< 1 > 日本政府供与分

- 21年6月以降、保冷コンテナにて以下3か国へ輸送
- 到着国では注目度が高くワクチン到着セレモニー実施
- 対象国と接種回数概算（万回分）

ベトナム 	タイ 	フィリピン 
562※	205	308



SGN
保健相
出迎え

BKK
タイ政府・
日本公使が
式典参列

MNL
大統領
出迎え

< 2 > COVAX



- 世界保健機関(WHO)主導プログラム
- 当社就航地のカンボジア以外は、ラオス南アジア等オフライン拠点宛
- 他の航空会社と連携し輸送を実施
- 対象国と接種回数概算（万回分）

カンボジア 	ラオス 
100	60



PNH
保健相が
式典参列

VTE
在ラオス大使が
式典参列

※首相来日の際の154万回分寄贈を合わせ約562万回分供与

接種必須はシンガポール・インドネシア。カンボジア・タイはワクチン接種で実質検疫免除
 マレーシア・ベトナム・フィリピン接種済検疫軽減。シンガポール・タイは相手国に応じた入国措置

	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア
相手国分類	4分類	2分類 (63か国or以外)	--	--
ワクチン必須	○ (WHO承認)	--	--	○ (英文ワクチン名記載証明書)
ワクチン検疫軽減	--	○ (WHO承認)	○ (WHO承認)	--
検疫 (日本から)	申告場所7日	接種済: PCR判明迄1日、政府認証ホテル待機 未接種: 政府認証宿舍 (AQ)5・10・14日	接種済: 自宅7日間 or 政府指定施設7日 未接種・未完了: 政府指定施設10日	政府指定ホテル10日 + 自主隔離 (自宅) 4日 (計14日) 推奨
特別プログラム	VTL 指定24か国からの ワクチン接種者検疫免除	サンドボックスプログラム 待機後、サンドボックス エリアで5日間滞在必要	ランカウイトラベルパス ツアー限定最低3日。8日 目以降個人旅行可	無し
オミクロン対応等	アフリカ10か国入国・乗継 禁止	アフリカ8か国入国禁止	アフリカ8か国入国禁止	香港、南ア、ボツワナ及び その周辺11か国入国禁止
	ベトナム	カンボジア	ミャンマー	フィリピン
相手国分類	--	--	--	--
ワクチン必須	--	--	--	--
ワクチン検疫軽減	○ (政府承認72か国)	○ (政府通達記載無し)	○ (政府承認*)	○ (WHO/政府承認国証明書)
検疫 (日本から)	接種済: 指定施設7日 + 自宅健康観察7日 未接種: 指定施設14日	接種済: 隔離なし 未接種: 政府施設 or 政府指定ホテル14日	接種済: 出発前1週間自 宅 + 到着後施設7-10日 未接種: (同) 11日	接種済: 指定施設 6日 + 自宅隔離 8日 未接種: 指定施設 8日 + 自宅隔離 6日
特別プログラム	無し	無し	無し	無し
オミクロン対応等		アフリカ10か国入国禁止		14か国入国禁止

シンガポールにおいて、CATII指定国のうちワクチン接種済みの旅客を対象に検疫 (SHN) を免除するプログラム。(開始・発表済27か国)

開始済	豪州、ブルネイ、カナダ、デンマーク、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、韓国、スペイン、スイス、英国、米国、フィンランド、インド、インドネシア、マレーシア、スウェーデン、
今後	タイ (12/13)、カンボジア、フィジー、モルジブ、スリランカ、トルコ (以上12/15)
延期	カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦 ※オミクロン株の影響



【想定される影響】

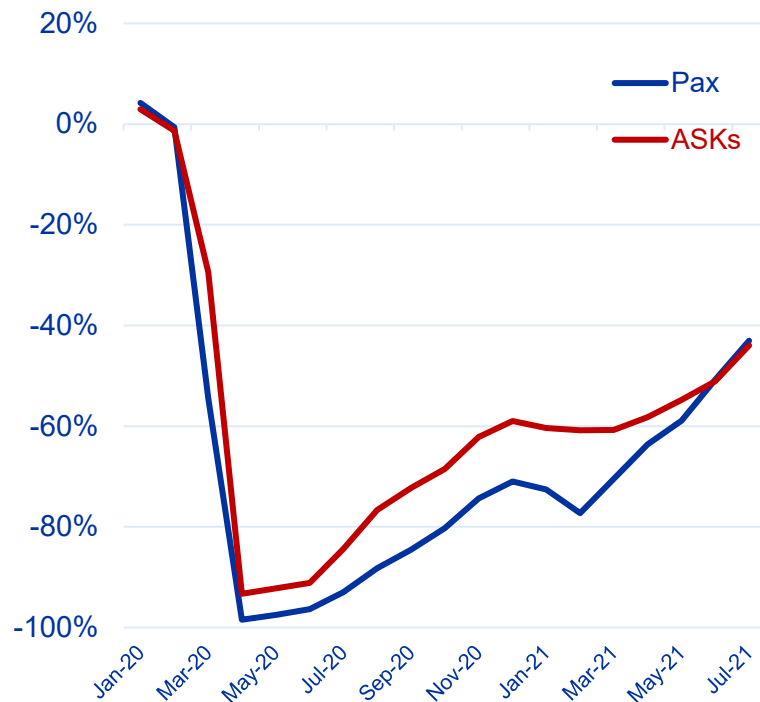
- 北米への第三国流動が日本経由から直行便に流出する (米国/カナダ乗換含む)
 競合 : SQ/UA (1/9-)
 路線例 : JFK/LAX/SFO/YVR等-SIN
- 訪韓需要に先を越される (デスティネーションとしての日本の競争力低下)
 競合 : SQ/KE/OZ
- 北米への三国流動が日本経由から韓国経由に流出する
 競合 : SQ/KE/OZ
 路線例 : US/CA-ICN-SIN

- ・ ワクチン普及と入国制限緩和で確実に需要が回復
- ・ 北米＝欧州においては隔離不要をきっかけに「ペンタアップ需要」が発生
- ・ ASEAN諸国でも一部の国から隔離不要の動き
- ・ タイの観光客受け入れ再開
- ・ シンガポールのVTL開始



・ アジアでは欧米系の航空会社より約1年弱の遅れである事から21年度第4四半期（22年1-3月）には観光目的の渡航制限が緩和され、**22年度上半期にはパンデミック前の約半分程度まで需要回復すると予測。**

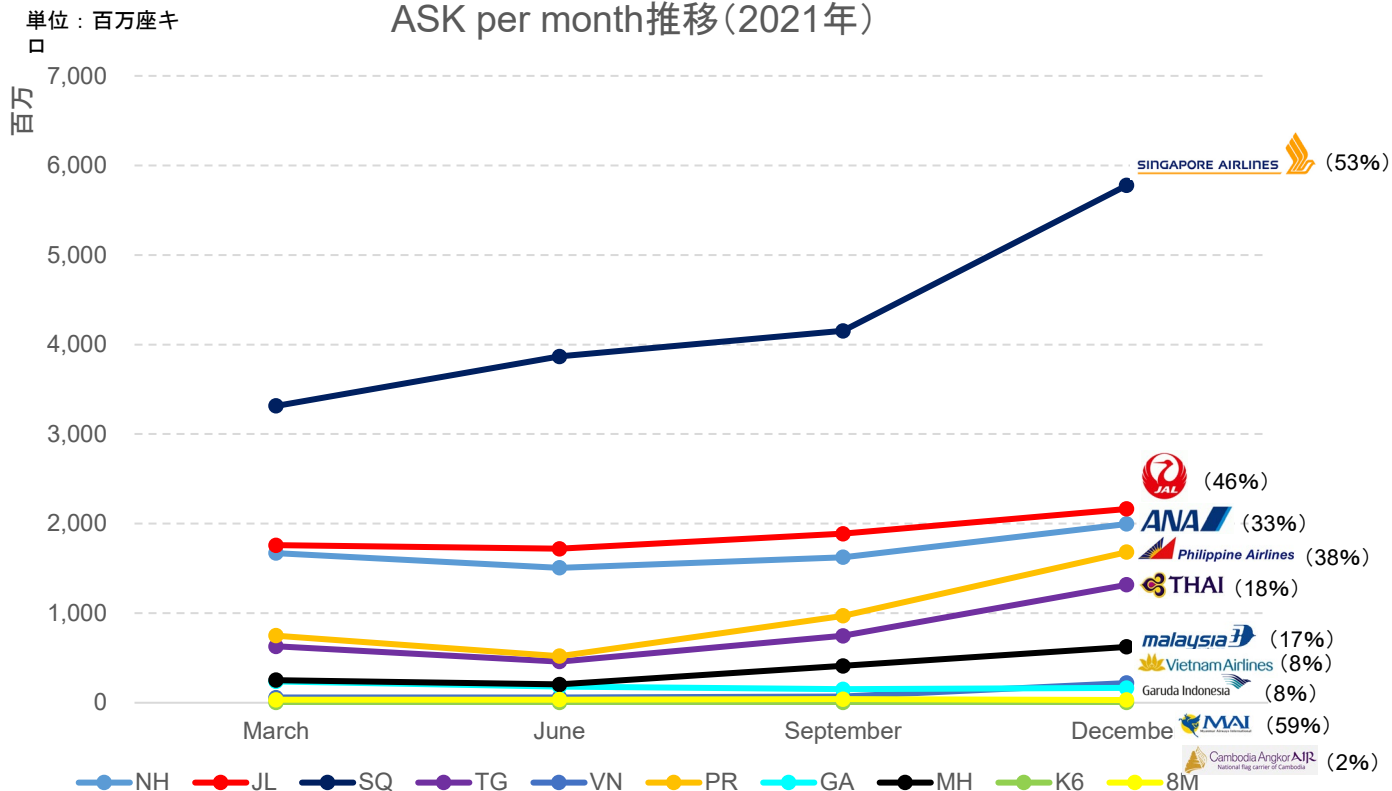
欧米系航空会社の例



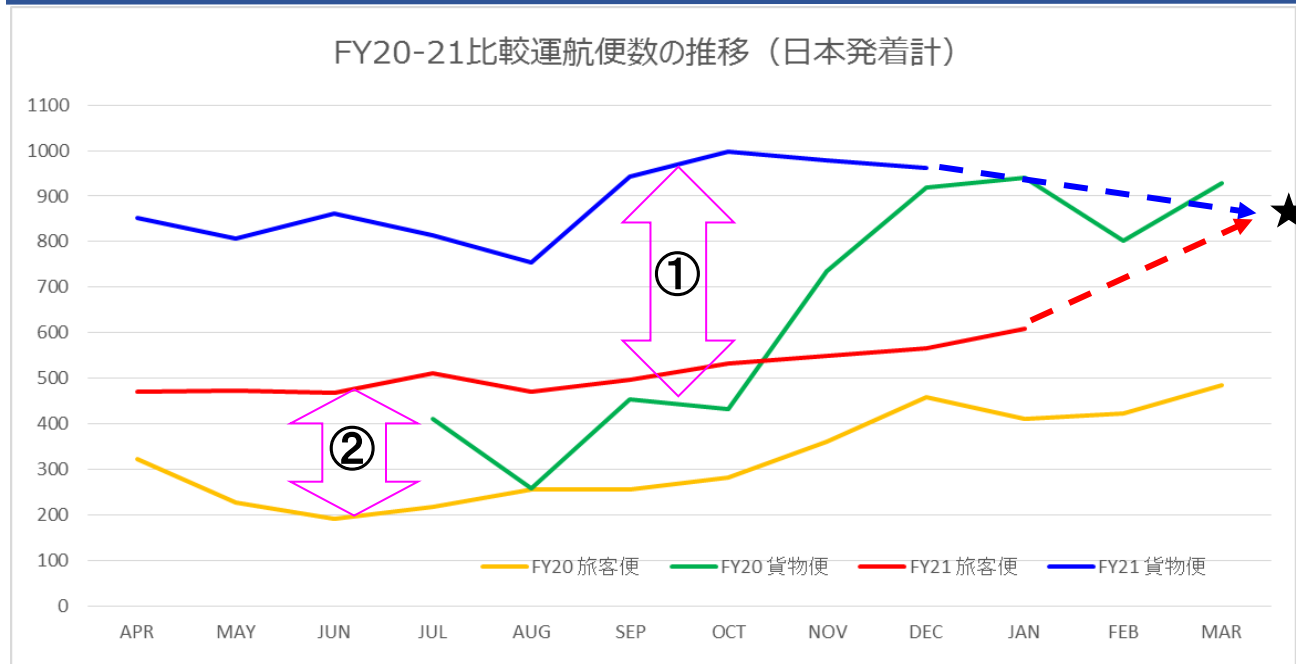
PAX＝旅客数、ASKs＝座席キロ（座席供給量の指標）

シンガポール航空の戻しが顕著＝国の政策に連動

ASK per month推移(2021年)



※括弧内は2019年同期（12月）比



①昨年度上期比較で貨物便は大幅に増加 ②旅客便も需要の変化をとらえ着実に増加
 ★入国制限や検疫緩和が進む中、徐々に旅客便が戻り貨物便と拮抗するタイミングが来る

その早期化による収益最大化が業績回復の鍵

感染・健康不安

- ・ 感染への恐怖・健康不安
- ・ 感染時の時間・経済的不安

規制・制約負荷

- 検査・検疫)
- ・ 書類・手続き煩雑・コスト

時流・マインド

- ・ リモートワーク慣れ
- ・ 鬱積した旅行ニーズ
- ・ 受入れ観光地の感情
- ・ 環境意識の高まり
- ・ ライフスタイルの変化

- ✓ より安全・安心な国・場所へ
- ✓ 団体よりプライベート・小グループ
- ✓ 都会（人ゴミ）より自然・地方
- ✓ いざという時の備え（保険等） → コスト

- ✓ より検疫の緩い国・分かりやすい国へ
- ✓ よりフレキシブルさが求められ
- ✓ よりコストコンシャスに
- ✓ より慎重・保守的に（特にファミリー）

- ✓ 便利なOnline会議 → 出張ニーズ減少
- ✓ 消費抑制・貯蓄 → ペントアップ需要
- ✓ 外国人観光客敬遠 → 適切な検疫と啓蒙
- ✓ 「とび恥」 → 飛行機敬遠（アジアは?）
- ✓ 物質的価値 → 精神的価値（働き方）

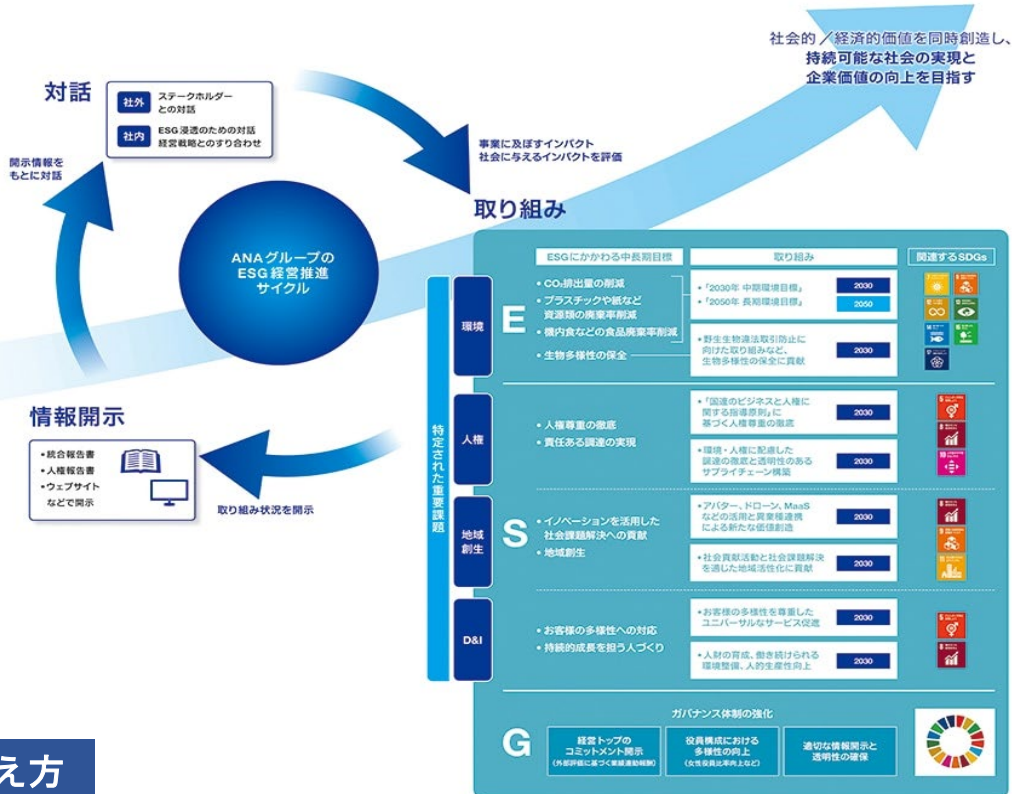
- ◆ コストや手間の諸課題を克服し、**ペントアップ需要に繋がられるか？**
- ◆ 更に、ESG時代の持続可能な旅に繋がられるか？

当社 & 業界

- ✓ 渡航支援 : 旅の不安の解消
渡航サポート・柔軟な対応（予約など）
- ✓ 訪日再生 : デジタル証明の早期整備
訪日プロモーション（ALL JAPANで）
- ✓ 地球にやさしく : ESG経営推進

国

- ✓ 渡航環境整備 : 適切な防疫と規制
（相手国やワクチン接種に応じた対応）
書類・手続の簡便化（デジタル化）
ワクチン接種促進
在留邦人サポート
- ✓ 世界との連携・調和 : 証明書等の相互認証
世界との情報同期と連携（脱鎖国）



基本的な考え方

「環境」「人権」「地域創生」「D&I」の4つの重要課題に事業活動を通じて取り組み、社会的価値と経済的価値を同時に創出。持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指す。対話→取り組み→情報開示のサイクルを通じてESG経営を推進



沖縄美ら海水族館を散歩

行きたい場所へ瞬間移動「アバター旅行」



渋沢栄一について学ぶ
(深谷大河ドラマ館)



大分の海の幸を知り尽くす



旅はどう変化するか？



距離的制約
乗り換え、移動手段等



時間的制約
移動時間、時差等



コスト
購入費、利用費等



インフラ整備
空港、駅、道路等



環境負荷
排気ガス、騒音、燃料等

行きたい場所へ瞬間移動「アバター旅行」



精神的ストレス
満員電車、長距離移動等



身体的負荷
高齢者、病、障がい等



外的リスク
テロ、気象、災害等



衛生リスク
感染症等



国交
パスポート、ビザ等

渋沢栄一について学ぶ
(深谷大河ドラマ館)

時空を超える旅客機「SKY WHALE」(バーチャルトラベルプラットフォーム)

ANA NEO



Skyパーク：旅のテーマパーク

3D CGで描かれた世界の都市や絶景スポットを舞台に、誰もが気軽に楽しめる新しい旅行体験を提供。「のんびり」「弾丸」など旅の好みを設定し、最大8人で同時にバーチャル旅行を楽しむ。

Skyモール：バーチャルショッピング空間

ご家族・友人と一緒に自由にモール内を歩き、買い物やイベントなどを楽しむ。越境E C を 実 現 し、地域創生や地産外商を促進。

Skyビレッジ：未来の街をイメージした空間



ご清聴ありがとうございました